

春を感じた野草教室

手野小学校（五和町）

6年 田代百華^{ももか}

手野小学校は、周りをたくさんの自然に囲まれています。全校生徒は55人しかいませんが、みんなとても仲が良く毎日を楽しく生活しています。地域の人たちとのつながりも深く、内野川の環境学習や米作り、畜産の体験などいっしょに教えていただいています。先日は、野草教室がありました。学校の中にも、食べられる野草があると知ってびっくりしました。ギンギシやノビル、クレソンなど、ふだんは見向きもしない野草を天ぷらにして食べました。最初は「おいしいのかな」と不安でしたが、食べてみると意外においしくて驚きました。私たちはみんな、手野の自然と地域が大好きです。



野草の天ぷらを食べる児童たち

ぼくのわたしの学校部活自慢



車いすを使った体験学習のようす

将来は介護福祉士に

河浦高校（河浦町）

2年 垣元つばさ

私は、河浦高校・園芸科学科の生活福祉コースを選択し、「家庭看護・福祉」や「基礎介護」という科目を学びながら、将来、医療や介護の現場で働くうえで必要な知識と技術を身につけています。2年次に、授業の中で「訪問介護員二級養成研修」を受講できるのがこのコースの特徴で、これは私が河浦高校を進学先にした理由のひとつでもあります。

授業では、福祉施設の皆さんとの調理会やスポーツ交流会に参加したり、認知症サポーター養成講座を受講するなど、多くの体験学習を行っています。これからも一つひとつの勉強を大事にして、将来、介護福祉士になることを目標にがんばっています。

地域づくり
コーナー

人が動く
地域が動く
天草が動く

地域住民の団結力をいかしたまちづくり

下浦地区振興会（会長 富安英^{ひでたけ}猛）

下浦地区は、天草上島の西南端、本渡地区の東部に位置している人口約2,000人の地区です。海に面した傾斜地が多くかんきつ類の栽培が盛んで、天草ほんかん発祥の地として知られているほか、石工業も約300年の歴史を持つ伝統産業となつていま

す。下浦地区振興会では、毎年町民体育祭やスポーツ大会などを開催し、住民どうしの

親睦と融和を図っています。中でも、毎年2月に開催している下浦町ふるさと祭り

は、今年で20回という節目を迎えることができました。この祭りは、行政区長会や地元

の青壮年会などが中心となつて「石工」と「ほんかん」をPRする産業祭として、住民

が一致団結して平成4年度か

ら開催しています。祭りでは、ほんかんの早積み競争や石の作品展示のほか、もち投げや住民が主役の芸能ショーなどを実施し、町内外から多くの来場者でにぎわっています。

今後、少子・高齢化や人口減少が進む状況の中、この住民の団結力を武器に地域の課題解決に向け取り組んでいきたいと思ひます。

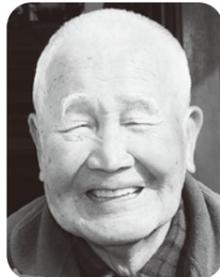


▲“ふるさと祭り”でのもち投げのようす

宝島の健康

よさげ屋

井手尾義男^{よしお}さん
(有明町赤崎・90歳)



◆毎日の楽しみは？

硬筆の練習や新聞を読むこと。また、天気がいい日は庭先での散歩や、ひなたぼっこをするのが楽しみです。そして、毎週水曜日のデイサービスで知人と雑談をするのも、生きがいのひとつです。

◆健康の秘けつは？

テレビで1日2回放送している、みんなの体操をしています。ゆっくりとしたテンポで、高齢者や体の不自由な人でもいすに座ったまま気軽にできるので、毎日欠かさずやるようにしています。



若っ喝采

谷本美樹^{みき}さん（倉岳町浦・23歳）

地元高校・看護学校を卒業後、そのまま地元に残って看護職の仕事を3年間続けています。入所者の皆さんから孫のように優しく接していただくなど、とてもやりがいを感じています。今後は、ケアマネジャーの資格も取れるように、がんばっていきたくと思っています。

心も体もすこやか新和っ子

小宮地保育所（新和町）

小宮地保育所（大野玲子^{れいこ}所長・全園児57人）では、3月末で園児18人が巣立っていきましたが、4月からは新たに18人が入園します。またすぐににぎやかさが戻り、子どもたちからパワーがもらえることを楽しみにしています。園は緑に囲まれた場所にあり、豊かな自然は園児たちにとって格好の遊び場です。じょうぶな体に育つことはもとより、「先生、この花が笑っているよ」「〇〇くん、今日はお休み？」など、あたたかく、そして優しい心が養われています。この豊かな心や感性を大事にはぐくみ、保護者の皆さんや地域、小・中学校との連携を深めながら、心も体もすこやか新和っ子になることを願っています。



屋根もピカピカ！はばたけ新和っ子！！

このゆびとくまれ



プール遊びをする園児たち

自立、集中力、責任感を持つモンテッソーリ教育

本渡カトリック聖心幼稚園（大浜町）

本渡カトリック聖心幼稚園（渡邊満智子^{まちこ}園長・全園児63人）では、創立当初からモンテッソーリ教育を行っています。

子どもは、「私が1人ですのを手伝ってね」という自立、集中力、責任感を高める自己教育に力を入れています。また、教育の視点として、①自己教育力の育成②基礎、基本の徹底③個性と創造性の伸長④文化と伝統の尊重、を重視しています。

クラスは、3・4・5歳児混合による異年齢集団のため、思いやり、優しさ、ゆずり合い、協力の心が育っています。そして、音楽、体育、絵画製作、英語（年長児）では年齢別の保育を行い、温かく調和のとれた人格形成を目ざしています。